

# 地域医療連携だより

Vol.218  
R3.7

長浜赤十字病院 地域医療連携課  
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7  
TEL 0749-68-3314  
FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター  
地域周産期母子医療センター  
地域災害医療センター  
滋賀県地域がん診療連携支援病院  
基幹原子力災害拠点病院

仲夏の候、貴院におかれましてはますますご清栄のことと存じます。  
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



## 看護師による特定行為について (特定行為研修修了者による医行為の実施)



皮膚・排泄ケア  
特定認定看護師  
大音 博美

### ＝特定看護師とは＝

保健師助産師看護師法（法律）に基づく特定行為研修を修了した看護師。これまでは医師しか行うことの出来なかった医行為のうち、一部の医行為を医師の判断を待たずに迅速に提供出来る看護師です。



引用：看護師の特定行為研修制度ポータルサイトより（日本看護協会）

### ＝活動することでどんな役に立つ＝

#### ○早期介入による重症化予防と早期治癒

医師があらかじめ特定行為の指示（手順書の発行）を出しておくことでその指示に従い医行為を行います。そうすることで改めて医師に指示を仰ぐことなく早期介入・早期治療が出来ます。その結果、「患者さんの状態悪化を防ぎやすくなり早くよくなる」＝「早期退院」「医療費の削減」と繋がっていきます。

#### ○医師の負担軽減、医師不足の補填

医師は外来や入院患者さんの診察、手術、検査などで多忙な状況です。そのような中で医師の手を止めずに一部の医行為を特定行為研修修了看護師が行うことで医師の負担を軽減することが出来ます。

#### ○チーム医療による医療の質の向上

医療技術の進歩に伴いこれからの医療はより専門的で複雑化します。そのような医療現場において、チーム医療を円滑に行う役割を担い、連携が強化され最善の医療を提供します。さらに、特定行為研修を終了した看護師は医学的な知識を活かして「治療」と「生活」の両面から患者さんを支援します。

## =できること=

看護師がおこなう特定行為には診療の補助とされている38の医行為があります。

2019年に特定行為研修を終了し、私が行える行為は以下の3区分5行為となります。

特定行為区分	特定行為
創傷管理関連	褥瘡または慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正

## =実際にどんなことをやっているか=

### ○褥瘡や慢性創傷（治りにくい傷）のある患者さんの壊死組織の除去

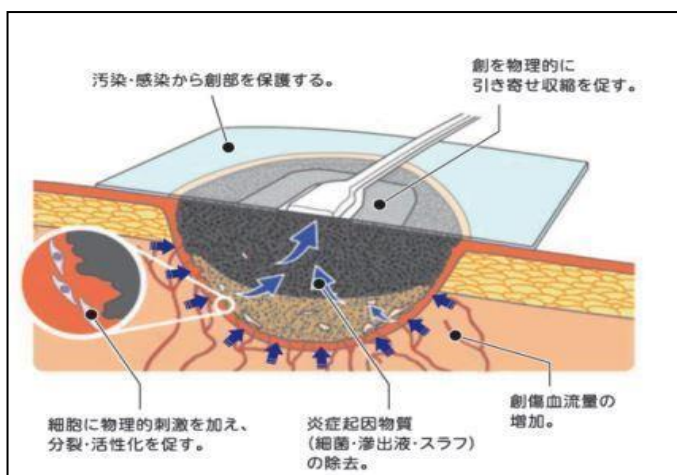
壊死組織（ダメになってしまった皮膚）などが傷についたままになっていると傷の治りが遅くなります。そのため傷が少しでも早く治るように除去（傷の掃除）していく必要があります。傷の状態を見て、早く傷が良くなるにはどうしたらいいか考え判断し、壊死組織の除去を実施します。



医師と共に壊死組織の除去を行っているところ

### ○傷の治りを早くするための陰圧閉鎖療法

陰圧閉鎖療法は褥瘡、深い傷や手術で縫うことが出来なかった傷などに対して管理された陰圧のかかる機械をつけて付加し、創の保護、肉芽形成の促進、滲出液と感染性老廃物の除去を図り創傷治癒の促進を目的として使用します。使用することが出来る傷の状態か判断し陰圧閉鎖療法を実施、治療の中断、継続の判断を行います。



陰圧閉鎖療法の作用機序



陰圧閉鎖療法を行っているときの傷



陰圧閉鎖療法を行うための器械

## ＝患者さんからの声＝

痛くなかった。やってもらえて良かった。傷の状態が聞けるから安心する。  
処置の内容で先生に聞けないことも処置をしてもらいながら聞けるからよかった。  
説明が分かりやすかった。

など治療終了後に患者さんからありがたいお言葉を頂いています。

## ＝活動に関して＝

基本的には院内での活動がメインですが、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格も持っているので、「専門性の高い看護師による同行訪問」が可能となります。

在宅で療養されている褥瘡を保有している患者さんの自宅へ訪問看護師さんと一緒に訪問し、褥瘡のケア・特定行為（壊死組織の除去）を行うことができます。

在宅で療養されている患者さんのケアのお手伝いも出来ればと考えています。

※依頼方法に関しては当院「地域医療連携課」へお問い合わせ下さい。



## ◆◆研修報告◆◆



### 滋賀県排泄支援プロジェクト排尿支援員育成講座 みんなで排尿ケアに取り組もう！ (5月22日開催)

2回目となる標記の研修会を今回もオンラインにて開催しました。長浜赤十字病院 皮膚・排泄ケア認定看護師の大音 博美氏、中川 祐子氏に「排尿障害への日常生活支援」、「排尿ケアにおける各職種の役割と多職種チームケア」をテーマに講義をしていただきました。

受講者からは

- ・直接利用者に接する職員だけでなく、多職種で取り組むとより効果が出せると認識できた。
  - ・普段の業務では知ることのできない内容でとても参考になった。
  - ・実際にオムツを触ることができ、わかりやすかった。
  - ・オムツやパッドのあて方等、知らないことが多かったので勉強になった。
  - ・認知症と排泄に関わりがあることを学んだ。今回の研修を実践し役立てていきたい。
- 等の感想をいただきました。

今後も地域の皆さまを対象とした研修会を予定しております。ご参加をお待ちしております。

### 地域医療連携研修会 「在宅医療を受ける利用者さんと語る人生会議」 (6月26日開催)

ACPとは「患者・家族・医療従事者の話し合いを通じて、患者の価値観を明らかにし、これからの治療・ケアの目標や選好を明確にするプロセス」とされています。人生100年時代を迎え、老いてからの人生も長くなっています。厚労省が平成29年におこなった意識調査では、実際に人生の最終段階における医療について家族や医療関係者と話し合った事がある割合は約3%で、話し合っていない理由としては「きっかけがなかった56%」、「必要性を感じなかった27%」、「知識がなく何を話したらいいかわからなかった22%」等となっています。

今回の研修では訪問看護の立場から、ACPの基本的知識と話し合いのきっかけ作りについて、長浜赤十字訪問看護ステーション所長の垣見 留美子氏にわかりやすい講義をしていただきました。シートを使っての時期毎の記録も紹介していただき、参加者の皆様に好評でした。



# 令和2年度 患者数統計



いつもたくさんのご紹介をいただきましてありがとうございます。

今後も地域の先生方のご理解とご協力をいただきながら、利用していただきやすい医療連携を目指してまいります。

## 診療科別患者数

診療科	令和2年度	令和元年度	診療科	令和2年度	令和元年度		
内科	42	45	産婦人科	1,045	1,095		
総合診療科	57	30	耳鼻いんこう科	368	399		
消化器内科	診察	1,354	1,479	麻酔科	30	21	
	内視鏡検査	619	744	精神科	333	292	
循環器内科	702	818	救命内科	1,139	848		
糖尿病内分泌内科	243	280	救命外科	485	401		
神経内科	診察	276	287	救命小児科	164	293	
	生理検査	7	16	救命精神科	16	19	
血液内科	51	49	救命産婦人科	36	29		
小児科	診察	435	603	歯科口腔外科	812	880	
	脳波	5	10	放射線科	超音波(US)	56	76
外科・透析外科・CAPD外科	497	552	CT		615	701	
整形外科	1,074	1,166	MR		865	815	
形成外科	601	648	RI		30	38	
脳神経外科	診察	165	182		X線造影	0	2
	生理検査	28	45		単純X-P	1	1
皮膚科	401	436	骨塩定量		45	62	
泌尿器科	831	539	セファロ・パノラマ		14	9	
合計				13,442	13,910		

湖北がんフォーラム2021

## 「がんに負けない生活習慣」

～生活習慣からがんのリスクを考える～

視聴  
無料

配信期間：2021年8月10日（火）～9月10日（金）

配信方法：オンライン配信（申込・登録不要）

パソコンやスマートフォン等でアクセスください。

<https://www.youtube.com/channel/UCzXNORiFTjQUTN4M6sCycrA>



主催（市立長浜病院）・共催（長浜赤十字病院）のホームページからも視聴できます。

	プログラム	出演者
1	開会あいさつ	市立長浜病院 院長 高折 恭一
2	健康寿命を保つための食事の秘訣 ～がんを含めた生活習慣病の予防のために～	市立長浜病院 ヘルスケア研究センター長 石田 均
3	湖北地域で多いがんのお話	長浜赤十字病院 副院長(兼)第一外科部長 塩見 尚礼
4	がんと食事にまつわるお話	長浜赤十字病院 がん病態栄養専門管理栄養士 公益社団法人滋賀県栄養士会 鈴木 真理
5	閉会あいさつ	長浜赤十字病院 病院長 楠井 隆